令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ごみ減量推進事業	会計名称	一般会計		担当課	環境保全課	
		予算科目	4 款 2 項 1 目	事業番号	2270	所属長名	小寺卓也
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	松野章彦	
法令根拠等	伊予市資源ごみ回収活動事務取扱要綱、伊予市生ごみ処理機等購入費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 循環型社会構築に向けた環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) ☒ 設定なし
総合計画における本事業の役割	ごみ減量化・再利用化の促進						
事業の対象	資源ごみの集団回収団体・処分業者に対する助成、生ごみ処理機等購入者に対する補助			事業の目的	ごみの資源化及び減量化の推進、高揚を図る。		
事業の内容 (整備内容)	資源ごみ回収を自主的に行うボランティア団体に3円/kgの手数料を交付。生ごみ処理機の購入価格の1/2以内の額を交付 (電気式生ごみ処理機については上限2万円、1世帯につき5年で1基、生ごみ処理容器については、上限3,000円1世帯につき3年で2基)			昨年度の課題に対する具体的な改善策	クールチャイス等のイベントで、ごみの減量化について啓発を行った。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	1,137	1,438	0	0	0	1,025	活動団体延べ数	団体	58	48	48	46
財源内訳	0	0	0	0	0	0						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	活動団体の回収量	kg	380236	357000	145346	279840
一般財源	1,137	1,438	0	0	0	1,025						
職員の人工(にんく)数	0.60	0.60				0.60	電気式生ごみ処理機申請件数	件	3	5	3	6
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	5,932	6,125				5,712						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				生ごみ処理容器申請件数	件	4	5	2	5
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
					1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	7,200		
成果指標	指標	活動団体の回収量	単位	⇒	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標	毎年度		
			kg		目標	450000	357000	350000	350000			
	指標設定の考え方	回収量が多ければ資源リサイクル化率に反映される。	実績		380236	279840	280000	290000				
	指標で表せない効果	ごみ回収量及び生ごみ処理機申請個数なので指標で表せない。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		生ごみ減量化の啓発を図るため、エコライフ展示会等のイベントを行いごみの減量を図った。								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	エコライフ展示会等のイベントにおいてごみへの知識について来場者に、ごみへの関心を図れた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B		事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) ごみの減量化に一定の効果があり、循環型社会を啓発していくうえで必要な事業であるため、事業継続と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3							
評価	所属長の課題認識	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性	ごみ減量に関する展示会を企業と連携して実施し、食品ロス削減や生ごみ処理機購入等の啓発に努めた。今後も企業と連携し、ごみの減量化や再利用、再資源化の啓発活動を実施していく必要がある。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。					3	
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。					3	
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。					3	
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。					4	
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。					3	
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3							

施策を踏まえた判断	二次判定	☒ 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 ごみ減量に関する展示会は、市民に好評で分別等、減量化の意識付けのきっかけになったと考えられ、継続して取り組むこと。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐ 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐ 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄
	☒ さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	☐ 現状のまま継続する。	
	☐ 見直しの上、継続する。	
	☐ 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐ 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	